

Case 2 りんくうタウン駅ビルの爆破テロ

避 難 実 施 要 領	
泉佐野市長 8月1日 午前10時30分現在	
市域内避難 及び 市域外避難	
1. 国または府からの避難指示の内容	
別添のとおり	
2. 事態の状況、関係機関の措置	
2-1 事態の状況	
発生時期	令和2年 8月 1日 午前9:00頃
発生場所	りんくうタウン駅ビル
実行の主体	不明
事案の概要と被害状況	市役所に電話で「正午にりんくうタウン駅を爆破する」という爆破予告があった。
今後の予測・影響と措置	実行の主体、目的等は不明だが、住民や滞在者に被害が及ばないように避難措置を行う。
気象の状況	天候：晴れのち曇り 気温：34℃ 風向：東 風速：1.5m/s
2-2 避難住民の誘導の概要	
要避難地域	りんくうタウン駅より半径500m
避難先と避難誘導の方針	要避難地域滞在者は、徒歩で一時避難場所への移動を促す。 対応にあたる職員も含め、11時30分までに要避難区域外に退避する。
避難開始日時	午後10時00分
避難完了予定日時	午後11時30分
2-3 関係機関の措置等	
措置の概要	警察及び泉佐野市：①要避難区域から一時避難場所への移動を誘導する ②一時避難場所からのバス輸送の誘導及び付近一帯の交通誘導を行う ③要避難区域内の各施設管理者に協力を要請し、区域内各施設の営業を中止してもらう 公共交通事業者等：一時避難場所から南海泉佐野駅までピストン輸送する
連絡調整先	府対策本部：市職員を2名派遣 現地調整所：市職員を2名派遣 避難所：市職員を各2名以上派遣
3. 事態等の特性で留意すべき事項	
事態の特性（除染の必要性等）	現時点で大量殺傷物や化学兵器を用いた大規模な爆破か判断がつかないため、予告時刻30分前には、避難誘導にあたる職員も避難が完了するように留意する必要がある。
地域の特性	要避難区域内は企業や商業施設、大学等が集積しているため、企業や施設単位での避難行動を促す。
時期による特性	日中の人々が集中する時間帯であることに留意する。 要避難区域内には小中学校はないため、児童・学童の避難は想定しない。

Case 2 りんくうタウン駅ビルの爆破テロ

避難実施要領

泉佐野市長

8月1日 午前10時30分現在

市内避難 及び 市域外避難

4. 避難者数（単位：人）					
地区名	りんくう 往来北	笠松一丁目	りんくう 往来南	松原三丁目	合計
避難者数（計）	5,220人 （従業者）	1,736人 （住民）	3,839人 （従業者）	474人 （住民）	11,269人
うち要配慮者数	—	—	—	—	—
うち外国人等の数	—	—	—	—	—
5. 避難施設					
5-1 避難施設					
避難先地域	—	—	—	—	
避難施設名	—	—	—	—	
所在地	—	—	—	—	
連絡先（電話等）	—	—	—	—	
連絡担当者	—	—	—	—	
その他の留意事項等	—	—	—	—	
5-2 一時集合場所					
一時集合場所名	幹線道路沿い緑地		佐野中学校		
所在地	りんくう往来北		羽倉崎 4-3-12		
連絡先（電話等）	—		—		
連絡担当者	—		—		
その他の留意事項等	—		—		
6. 避難手段					
輸送手段	鉄道 ・ バス ・ 船舶 ・ 徒歩 ・ その他（要配慮者用車両）				
輸送手段の詳細	種類（車種等）	<ul style="list-style-type: none"> 要避難地域から：徒歩により一時避難地まで移動する 一時避難地から：市が手配したバス等により、順次ピストンにて南海泉佐野駅まで輸送する 			
	台数	—			
	輸送可能人数	バス：50人/台			
	連絡先	—			
輸送力の配分の考え方	—				
その他輸送手段	要援護者	自力で避難することが困難な者に対しては、福祉車両による輸送を行う。			
	その他（入院患者等）	りんくう総合医療センター内の入院患者など避難が困難な者は、建物内にて窓側から離れるなど安全な場所に避難する。			

Case 2 りんくうタウン駅ビルの爆破テロ

避難実施要領					
				泉佐野市長	
				8月1日 午前10時30分現在	
市域内避難 及び 市域外避難					
7. 避難経路					
避難に使用する経路		別添のとおり			
交通規制	実施者の確認	泉佐野警察署、市職員			
	規制にあたる人数	5～10人程度			
	規制場所	事態発生現場に立ち入ることがないように、警察はりんくうタウン駅付近にて交通規制を行う。 市職員は、住民等の避難を誘導するため、要避難区域内の交差点及び一時避難場所にて避難誘導を行う。			
警備体制	実施者の確認	泉佐野警察署			
	規制にあたる人数	20人程度			
	規制場所	交通規制実施箇所等にて警備を行う。			
8. 避難誘導方法					
8-1 避難（輸送）方法					
地区		りんくう 往来北	笠松一丁目	りんくう 往来南	松原三丁目
一時集合 場所への 避難方法	誘導の実施単位	要避難区域内滞在者		要避難区域内滞在者	
	輸送手段	徒歩		徒歩	
	避難先	幹線道路沿い緑地		佐野中学校	
	集合時間	10時30分		10時30分	
	その他（誘導責任者等）	泉佐野市		泉佐野市	
避難施設 への避難 方法	誘導の実施単位	一時避難地滞在者		一時避難地滞在者	
	輸送手段	バス		バス	
	避難経路	別添のルートで南海泉佐野駅に向かう			
	避難先	南海泉佐野駅 (事態収束後の滞留希望者は、佐野中学校、第一小学校へ輸送)			
	避難完了予定日時	順次			
	その他（誘導責任者等）	誘導責任者：泉佐野市			
要配慮者 等の避難 方法	誘導の実施単位	避難行動要支援者避難行動支援プランに基づき、設定される者			
	要配慮者への 支援事項	要配慮者の区分に応じた対応を実施。 りんくう総合医療センターの入院患者など避難が困難な者は、建物内にて窓側から離れるなど安全な場所に避難する。			
	輸送手段	福祉車両による輸送			
	避難経路	ピストン輸送の妨げにならないルートで南海泉佐野駅へ輸送			
	避難先	南海泉佐野駅、りんくう総合医療センター（入院患者）			
	避難開始日時	8月1日 午前10:00			
	避難完了予定日時	8月1日 午前11:30			

Case 2 りんくうタウン駅ビルの爆破テロ

避難実施要領	
泉佐野市長 8月1日 午前10時30分現在	
市域内避難 及び 市域外避難	
8-2 職員の配置方法	
配置場所	避難時の主要交差点6名(3箇所×2名)、りんくうタウン駅2名、避難所4~10名(2箇所×2~5名)
人数	最大20名弱
現地調整所	連絡要員として5名配置
8-3 残留者の確認方法	
確認者	市職員、消防団、自主防災組織等
時期	8月1日 午前11時00分頃~
場所	要避難地域内
方法	広報車及び防災行政無線による呼びかけ、近隣宅に戸別訪問。
措置	残留者に対して、直ちに一時避難場所に避難するように呼びかける。
終了予定日時	8月1日 午前11時30分頃
8-4 避難誘導時の食糧の支援・提供方法	
食事時期・場所	—
提供する食事の種類	—
実施担当部署	—
8-5 追加情報の伝達方法	
避難誘導員による連絡、防災行政無線、広報車等により行う。	
9. 避難時の留意事項(主に住民)	
自宅から避難する場合の留意事項	
基本事項	
避難時は、貴重品や身分証明書、最小限の着替えや日用品を携行する。	
近隣で声をかけあい、自助・共助の精神のもと避難する。	
服装や携行品等から不審者と判断されるものを発見した場合には、市対策本部、消防本部、警察署に通報する。	
消防団、自主防災組織などの地域リーダーは、毅然とした態度で誘導を行い、混乱の防止に努める。	
事態の特性	
実行犯の目的等が不明なため、予告時間が過ぎた後も警戒が解除されるまで事態発生場所に近づかない。	
時期の特性	
夏場であることから、避難中、避難先での水分補給を怠らない。	
一時集合場所での対応	
避難者同士で声をかけあい、自助・共助の精神のもと避難する。	
市職員の誘導のもと、勝手な行動は慎む。	

Case 2 りんくうタウン駅ビルの爆破テロ

避 難 実 施 要 領	
泉佐野市長 8月1日 午前10時30分現在	
市域内避難 及び 市域外避難	
10. 誘導に際しての留意事項（職員）	
<p>（心得・安全確保・服装等）</p> <p>誘導職員は、服装や交付した特殊腕章等により、誘導員であることの立場や役割を明確にし、その活動に理解を求め。残留者に対しては、事態の状況、避難の必要性について説明し、直ちに退避するように説得することを促す。</p> <p>あくまで避難を拒否する者や、空き巣等の犯罪者を発見した場合には、市対策本部、消防本部、警察署に通報するように促す。</p>	
11. 情報伝達	
避難実施要領の住民への伝達方法 避難実施要領の伝達先 職員間の連絡手段	<p>一時避難場所にて、随時事態の状況や避難誘導の内容を伝達する。</p> <p>また、対象地域住民に対しては防災行政無線により伝達し、要避難地域に所在する各民間施設に、避難情報の伝達を依頼する。</p>
12. 緊急時の連絡先	
泉佐野市 国民保護／緊急処理事態対策本部	電 話：072-463-1212（代表）

■ 事態の発生場所と要避難区域

